

全能の神よ、あなたをまことに知ることは、永遠の命に至る道です。どうかわたしたちが、み子イエス・キリストは道であり、真理であり、命であることを深く知ってみ跡に従い、永遠の命に至る道を絶えず進むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖パウロ教会 にちようがっこう  
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1  
でんわ：03-3710-6031

発行日  
2023年  
5月7日

春の連休は初夏のようなお天気が続いて、楽しく過ごした人も多かったのでは。一方、石川県などでは大きな地震が起これり、不安な気持ちを抱えながら過ごしている人もたくさんいます。お祈りしましょう。

今週の聖書 ヨハネによる福音書 14:1-14

1 「心を騒がせてはならない。神を信じ、また私を信じなさい。  
2 私の父の家には住まいがたくさんある。もしなければ、私はそう言うておいたであろう。あなたがたのために場所を用意しに行くのだ。」  
3 行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたを私のもとに迎える。こうして、私のいる所に、あなたがたもいることになる。  
4 私がどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」  
5 トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。どうして、その道が分かるでしょう。」  
6 イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、誰も父のもとに行くことができない。」  
7 あなたがたが私を知っているなら、私の父をも知るであろう。いや、今、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのだ。」  
8 フィリポが、「主よ、私たちに御父をお示しください。そうすれば満足します」と言うと、  
9 イエスは言われた。「フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、私がかかっているのか。私を見た者は、父を見たのだ。なぜ、『私たちに御父をお示しください』と言うのか。  
10 私が父の内におり、父が私の内におられることを、信じないのか。私があなたがたに言う言葉は、勝手に話しているのではない。父が私の内におり、その業を行っておられるのである。  
11 私が父の内におり、父が私の内におられると、私が言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのもの



聖書からのメッセージ 『私は神様のところに行く』 司祭 池 星照

今日の福音書はイエス様の最後の説教です。14章から始まり、16章の最後の節まで続く長い説教でした。この説教の中でイエス様は多くの話を聞かせてくださいます。神様に対する切実な信仰というのが何か、また神様に従うその道の中でイエス様自身を通じて神様の元に行きなさいという話、そして聖霊の役割とこの聖霊を世の中に送ってくださるとい約束、イエス様が与える平和、互いに愛し合いながら神様の道を歩むこと、イエス様が「私はすでに世の中に勝っている」というメッセージまで伝えていきます。この説教の中で大切な言葉は「私は神様のところに行く」ということです。イエス様は神様の元からいらして神様の元に戻って行く。イエス様だけでなく、あなたたちも皆そうしなければならない。弟子たちだけでなく、すべての信仰を持っている人々が神様の元に戻らなければならないという言葉です。

によって信じなさい。12 よくよく言うておく。私を信じる者は、私が行う業を行おう。それが父のもとへ行くからである。13 私の名によって願うことを何でもかなえてあげよう。こうして、父は子によって栄光をお受けになる。14 私の名によって願うことは何事でも、私がかねえてあげよう。」